

MIRU 知る SHIRU 見る 知る



東区の碑

区内各地区に開拓にまつわる数々の碑が残っています。そのいくつかを紹介します。

36 富樫農場「開墾大作碑」「富樫農場開放記念之碑」【地図】B-1

柴町673番地
明治21(1888)年、現在の柴町付近に入植した富樫傳右衛門は、災害で離農者が続出するなどの辛酸もなめましたが、やがて墾田は約300ヘクタール、小作戸数も150戸を数えるようになりました。大きな自然石でできた「開墾大作碑」は、二代目傳右衛門と小作人たちの手によって先代の没後に建てられたもの。すぐ隣には、開放されて自作農になった47人の名前が刻まれた「富樫農場開放記念之碑」が建っています。



37 「征露凱旋記念碑」【地図】B-2

丘珠町183番地
丘珠神社境内
日露戦争の翌年に、丘珠村青年組が建立。石碑には、日露戦争出征者の氏名が刻まれています。



38 大学村「成懇記念碑」【地図】A-3

北26条東3丁目
一世紀にも及ぶ北海道大学の歴史の中で、農場経営は重要な基盤でした。北大第三農場は、明治22(1889)年、本州各県の入植者を集めて北大の付属農園としてスタート。先人の労苦をしのぶこの碑は、第三農場の管理事務所の置かれていた一角に建てられています。



39 中沼開拓「記念碑」【地図】D-1

中沼町104番地 モエレ会館裏
かつて中野と呼ばれたこの地区では、以前は稲作が行われていました。モエレ沼の水辺近くに建てられているこの碑には、「水田発祥の史」が刻まれています。大正2(1913)年に道から許可を得、翌年に蒸気機関によって沼の水を揚げて始まった稲作計画は、昭和30(1955)年代に全盛期を迎えました。しかしその後、水不足や国の生産調整、市街化による断水などにより、昭和54(1979)年に全面休耕となりました。



40 「福移開拓五十年碑」「福移開拓百年碑」【地図】D-1

中沼町238番地 福移神社境内
福移神社境内には、二つの碑が並んでいます。荒く削られた自然石の「福移開拓五十年碑」は、第二十代北海道庁長官池田秀雄の揮毫。開拓を支えてきた木野為次郎、佐久間峰太郎ら43人の氏名が刻まれています。また、昭和56(1981)年には「福移開拓百年碑」が建てられ、「筑前開墾」と呼ばれた開拓当初のたくましい息吹が伝わってきます。



41 「札幌村創建百年碑」【地図】B-4

北14条東15丁目 本龍寺境内
札幌村創建百年記念協賛会によって建立。碑文には「慶応二年 大友亀太郎 幕府の命を受け 農夫十数名を伴い この地に来り 未開の原野に開拓の鎌をふるう 爾来幾星霜 今日隆昌をみるに至る 今茲に住民一同 先駆者の偉業を偲び…」と刻まれています。



42 「北海道民放第一声の地」記念碑【地図】B-2

北32条東15丁目
「JOHR、JOHR、こちらは北海道放送でございます」。民間ラジオ放送の第一声が札幌にはじめて響き渡ったのは、昭和27(1952)年1月19日の午前7時でした。北海道放送が旧元村ラジオ送信所跡に建立したこの記念碑には、「単なる記念碑に止まらず、古きをたずね新しきを知る「道標」にしたい」との思いが込められています。



43 「日の丸農場記念之碑」【地図】A-2

北41条東10丁目 ひのまる公園内
日の丸農場跡地につくられたひのまる公園内に建つ、白みかげ石の美しいデザインの碑。日の丸水田組合が農場主の松本菊次郎に感謝をこめ、その功績を後世に伝えるために建立しました。題字の揮毫は、当時北海道知事だった堂垣内尚弘によるもの。



44 札幌玉葱記念碑【地図】B-4

北13条東16丁目2-6 札幌村郷土記念館前庭
タマネギの日本定着をもたらしたのは、明治4(1871)年に開拓使が米国から輸入した種子でした。まず、当時の農業試験場である札幌官園で試作され、やがて、早くから農家が定着していた元村(現在の札幌村郷土記念館周辺)での小規模栽培が始まります。

45 「大友亀太郎役宅跡」碑【地図】B-4

北13条東16丁目2-6 札幌村郷土記念館前庭
現在の札幌村郷土記念館の敷地内に、大友亀太郎が妻サダ、長男鶴太郎とともに住んだ役宅がありました。亀太郎の役宅は、当時の人々から「大友役所」と呼ばれていたといわれています。記念碑は、御手作場開拓120年記念として札幌村郷土記念館保存会が建立しました。

以来、この地域のタマネギ栽培は一世紀余の歴史を刻むこととなりました。

46 札幌黄の生みの親ウィリアム・ペン・ブルックス博士顕彰碑【地図】B-4

北13条東16丁目2-6 札幌村郷土記念館前庭
札幌村でのタマネギ栽培に大きく貢献したウィリアム・ペン・ブルックス博士の功績とその歴史を残したいと考え、札幌村郷土記念館保存会が建立しました。

47 明治天皇行幸記念碑【地図】B-4

北13条東16丁目2-6 札幌村郷土記念館前庭
1881(明治14)年に明治天皇が札幌を行幸された折、大友亀太郎が造成した大友堀を中心に開墾された東区での農業の実状をご視察になられたことを記念し、先人の開拓精神を今に生かして未来につないでいこうと、札幌村郷土記念館保存会が建立しました。



手をつなぐ 札幌オリンピック記念像

東区の野外彫刻

ちょっと足を延ばして、区内に点在する野外彫刻を鑑賞してみませんか。

所在地	作品名	作者	設置場所
	手をつなぐ	本田明二	北11条東7丁目 東区民センター前庭
	鳥「擁」	山本一也(晃作)	北15条東2丁目 札幌北斗高校生徒玄関前
	清川圓誠胸像	藤川巖三	北16条東9丁目 札幌大谷高校校庭
	寺本恵真胸像	藤川巖三	北16条東9丁目 札幌大谷高校校庭
	札幌オリンピック記念像	佐藤忠良	北22条東5丁目 美香体育館前
	希望の像	川田静子	北25条東17丁目 元町小学校内
	風雪に耐える	高津和夫	北36条東14丁目 柴町中学校内
	歓び	坂胆道	北46条東6丁目 柴中学校西玄関前
	共に学び共に育つ	不明	東苗穂7条2丁目 札幌小学校
	まるいつばさ	鴻上宏子	東苗穂8条1丁目 東苗穂あかけら公園内
	躍動	澤田猛	東苗穂10条3丁目 札幌北中学校内
	holdin'	加藤幸子	東苗穂12条1丁目 東苗穂はやぶさ公園内
	ぐんぐん	今谷孝	東苗穂13条4丁目 札幌緑小学校
	菅井喜久治氏胸像	盛岡勇夫	丘珠町593番地 丘珠小学校
	考える人	不明	本町1条7丁目 東栄中学校内